

## 令和3年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

## I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。
----------	---

2 評価する領域・分野	進路指導
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「進路情報の提供」「適切な指導」に関するアンケート結果は、生徒および保護者・評議員共に概ね90%が「あてはまる」と回答している。
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。
5 重点目標を達成するための校内組織体制	教務、各学年、各教科、商業専門部、工業専門部

6 目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標
(1) キャリア教育の推進 (2) 地域に貢献できる人材の育成 (3) ガイダンス機能の充実 (4) 基礎学力等の向上 (5) 大学進学指導の強化と充実	(1) 将来に対する目的意識を持ち、主体的に取り組む (2) 望ましい勤労観・職業観の形成と地域産業の理解 (3) 進路活動への適応と主体的な選択 (4) 進路実現に向けた基礎学力の習得 (5) 語学力や専門知識を生かした進路の実現

8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 学習活動全体を通してキャリア教育を展開 (2) 地元企業 PR 動画の活用 (3) 進学相談会、就職ガイダンスの実施 (4) 外部テスト、適性検査の実施と活用 (5) 小論文、面接、プレゼン、共通テスト指導	(1) 指導内容の連携と充実 (2) 地域産業の理解と人材の輩出 (3) 主体的な進路活動 (4) 希望の学校、企業への進路実現 (5) 専門性を活かした進路実現	Ⓐ B C D A Ⓑ C D A Ⓑ C D A Ⓑ C D Ⓐ B C D

11 成果・課題	<p>○各種進路行事の実施において様々な制限がある中、地元企業 PR 動画やオンラインを活用した進学相談会等の実施により進路選択に向けた情報発信を行うことができた。</p> <p>○就職希望者のおよそ4割が地元企業に内定した。また、多くの生徒が商業や工業の専攻する学科やコースの専門性に関連する業種の企業への就職を決めることができた。</p> <p>○日頃からのわかタブPCの活用やオンライン学習支援の経験から、Webによる入試や就職試験においても生徒自らの力で対応できるスキルが備わり、これからの社会に適応できる力強さを身につけることができた。</p> <p>●就職試験において多様化した適性検査への対応が課題である。</p> <p>●希望する進路実現のために、さらなる学力の向上が必要である。</p>	総合評価 A Ⓑ C D
----------	--	-----------------

12 来年度に向けての改善方策案
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で実施している適性検査結果の活用の充実を図り、より生徒に適した進路選択となるよう努める。また、就職試験対策として適性検査で適切な判定結果が得られるよう事前に必要な検査を経験して就職試験に臨むことができるよう努める。</li> <li>・進路テストの事前学習指導の充実を図る。また、学校推薦型選抜の受験者の学力向上に努める。</li> </ul>

## II 学校関係者評価

実施年月日 令和4年1月27日

【意見・要望・評価等】
・今後もwebを活用した地域企業のPRなどの情報発信を行い、地域に貢献できる人材を育成してほしい。また、webによる進学相談会や企業説明会、面接において自分らしさをアピールできるなど自分自身を表現する指導に努めてほしい。